

神杉自治連だより

三次市長をお招きして

神杉わくわく講座開催

本年度5回目のわくわく講座を1月16日(月)に開催しました。今回は、福岡市長に「市政を語る」と題してお話していただきました。毎年市長には、わくわく講座にお越しいただいております。

今回は

- ① 三次の拠点性魅力を再確認・発信
 - ② 災害に強いまちづくり
 - ③ 計画性のあるまちづくり
 - ④ 近隣の市町との連携
- と概要的に4項目でのお話でした。



① については、経済活性化、景気対策、一企業の誘致—ということ、三良坂産業団地に(株)シンセイの誘致や三次駅前へホテルの誘致による雇用拡大。女子野球への取り組み強化でカープ球団より2千万円の寄付を頂いたこと。薬用作物の産地化の進捗状況について。

② については、平成30年の災害普及はほぼ完了したこと。内水対策で五龍川貯留施設の整備完了(畠敷・願万寺地区)

③ については、三次市長期財政運営計画の策定(令和3年11月策定)。これは今後10年間令和13年までを見通した計画。この中で直近として、新

神杉地区
自治会連合会
TEL 66-1323
2023/2/10 発行
1月末(前月比)
人口 1,495(+3)
世帯数 607(+4)
ホームページ
kamisugi@m-city.jp



学校給食調理場が今秋完成予定。市立三次中央病院の建て替え。小・中学校の老朽化対策。財政指標を安定させるための取り組みとして、公共施設等総合管理計画、個別施設計画の策定(令和3年3月策定)。そして、よつしや吉舎、三良坂支所、甲奴支所等の耐震化に併せ多機能化。

④ については、社会問題の解決に向けた自治体連携を推進ということで、広島広域都市圏に加入し(令和3年3月)、救急相談センター(広島広域都市圏(井7119))を開設して24時間³⁶⁵日相談できる体制を整備した。また、広島県水道広域連合企業団に加わり、水道広域化による持続可能な水確保などの話がありました。

講座生からは、10年後の三次の姿について、農業施策について、旧三次市と旧郡部の行政サービスの違いなどなどの質問があり、それぞれ回答いただきました。神杉コミュニティセンターの改築については、今後10年の内に動きがあることには言明を避けられました。残念ですが引き続き粘り強く要望していきたいと思えます。



「コミュニティ・スクールについて

1月29日(日)みよしまちづくりセンターで、三次教育フェスタが開催されました。「コミュニティ・スクール」という考え方の研修会でした。

「コミュニティ・スクール」は、学校と保護者や地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで、一緒に協議をしながら子どもたちの豊かな成長を支え、「地域とともにある学校づくり」を目指すものです。

1980年代に文部科学省から提唱されたもので、約40年間下火になっていきましたが、再度この考え方を導入する方向で、現在進行中のお話がありました。

(講師 志々田まなみ先生・国立教育政策研究所所属)

三次市では中学校区単位で進められるように、2025年度までに全中学校区へ導入される方針です。すでに三次中学校区では2022年度から開始されています。研修会の中で、事例発表をされました。

これから塩町中学校区でも進められますが、進行状況については今後情報提供していきます。

子どもが居られないご家庭も関心をもって地域としてかかわっていくことが求められますのでよろしくお願いいたします。



囲碁を打って楽しいひとときを



1月29日(日)、あいにくの雪の中でしたが、9名の参加のもと、3年ぶりの神杉地区囲碁大会を開催しました。午前中の短時間でしたが、雑談も交え楽しいひとときを共有できました。

ただ、最近の傾向として囲碁人口は減少の一途で、先の展望が開けておりません。

囲碁は想像力を育み発想が豊かになる頭脳ゲームです。

中国・台湾・韓国の小・中学校では、「**琴棋書画**」・・・つまり教育の一環として音楽・囲碁・書道・絵画が普通に取り入れられています。しかし、なぜか日本では「**棋**」だけが抜け落ちてるのが現状で残念です。

少しでも興味をもたれる、子供たちが出てくることを願っております。

(文) 神杉囲碁同好会

会長 倉屋 巧さん)

毎年この囲碁大会を楽しみにして、わざわざ地区外から帰って来られる方もいらっしゃいます。今回で67回目となった伝統ある神杉囲碁大会を、これからもずっと続けていきたいものです。



スキーツアーに行きました

スポーツ振興部会(部長 宗安仙太郎さん)は、1月29日(日)、4年ぶりにスキーツアーを開催しました。まだまだ新型コロナウイルス感染が心配される為、バスでの移動は中止し、島根県飯南町の琴引フォレストパークスキー場へ各々現地集合することとし、今回は15名が参加しました。

保護者の感想

・コロナ禍で交流することが減っていたところ、スキーツアーを通じ、地域の方と交流が出来、楽しいウインタースポーツでした。



・参加した子供たちもスキーやスノーボードをとても楽しんでいました。また友達と一緒に練習して滑ることでも良い経験と思い出ができたと思います。

子どもの感想文

私は、日曜日にスキーツアーに家族と一緒に行きました。友達やいとも来ていました。

私は、初めてスノーボードをしました。とっても楽しかったです!!

父さんからスノーボードを足に付けたまま歩く方法やすべり方を教えてもらいました。

でも、実際にやってみるとむずかしくて、何度もこけました。

練習をして下ですべれるようになりますと、こつをつかんで、すべりこまなくても立って速さを

止められるようになりました。

そして、リフトにも乗りました。

リフトは、乗る時とおりの時がとても恐かったです。

スキーツアーはすべれて楽しかったけど、何より友達が出来て話せるし、休んでいる時に遊んだりもできるからとても楽しいです。

来年も絶対参加するし、次はバスでたくさんの人と行きたいです。(5年生 女の子)

神杉自主防災会議を開催

令和5年度防災訓練実施概要固まる

2月3日(金)、自主防災

会議を開催し、昨年11月に

神杉自主防災会議が県知事表

彰を受けた報告をし、その後

令和5年度の自主防災訓練の

概要について話し合いました。

① 実施日 7月9日(日)

② 災害想定 大雨による洪水、

土砂崩れ

③ 実施概要 今まで通り各地域防災会での安

否確認実施後、神杉小学校校体育館で全体訓練を

行う。具体的な内容については、神杉防災士会

や消防団との協議で具体化し、防災委員会で決

定することとなりました。

実施内容について地域の皆様には、各地区防

災委員から報告していただきますのでご協力を

よろしく願います。

尚、自治会未加入世帯も対象となりますので、是非ともご参加ください。



幹ちゃんの 集落支援員情報

「新制度 いらない土地は国に返す 相続土地国庫帰属制度」のお話

相続土地国庫帰属制度は、土地利用ニーズの低下等で土地を手放したいと考える者の増加、所有者不明土地の解消に向け、相続等により取得した土地所有権の国庫帰属に関する法律です。

相続又は遺贈により土地を取得した所有者は、法務大臣にその土地の所有権を国庫に帰属させることの承認を申請することができます。

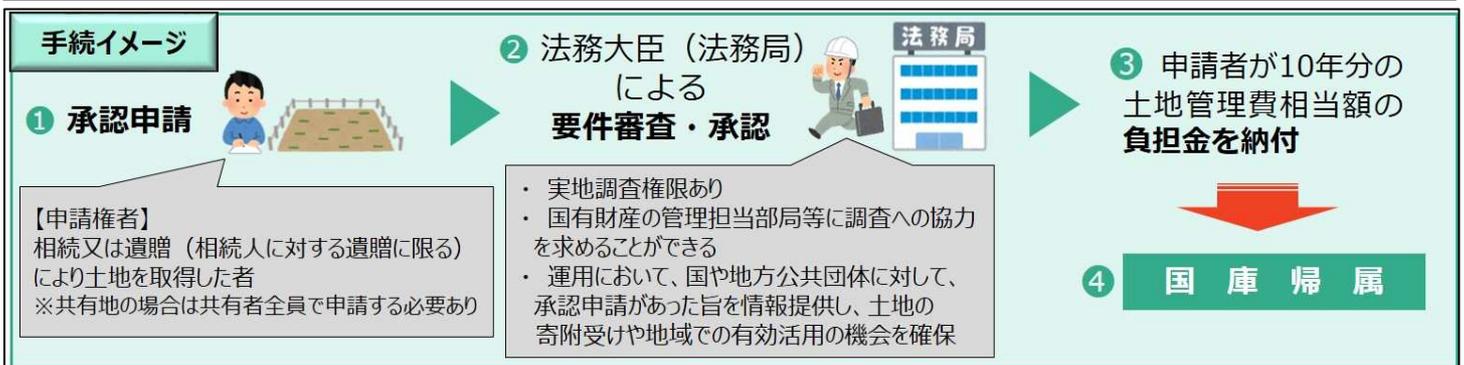
承認を求める要件は、土地のみであることと、以下のいずれにも該当しないこと。

1つでも当てはまると申請は受理されません。

1. **建物**の存する土地
 2. 担保権又は使用及び収益を目的とする**権利が設定されている土地**
 3. **他人による使用が予定される**（墓地、通路、水道用地、水路、ため池等の用に供されている）土地が含まれている土地
 4. **特定有害物質に汚染されている**土地
 5. 境界が明らかでないなど**争いがある土地**
 6. **崖**があり通常の管理に当たり過分の費用又は労力を要する土地
 7. 通常管理又は処分を阻害する車両や樹木など**有体物が地上に存する**土地
 8. 除去しなければ管理又は処分できない**有体物が地下に存する**土地
 9. 隣接する土地所有者と**争訟によらなければ管理又は処分することができない**土地
- 上記1から9までのほか、**管理、処分に過分の費用、労力が要する**土地

以上の要件をクリアし、申請が認められ 10 年分の土地管理費（負担金）の納付を行うと国庫帰属します。（原則 20 万円 例外もあります）

土地を手放す手段としては、売却、賃貸とする方法もあるので十分検討する必要があります。詳しくは、法務局、司法書士等の専門家に相談することが良いと思います。



うさぎ年の 諺 パート2

・ 兎に祭文（うさぎにさいもん）
「祭文」というのは、神祭りのときに言われるありがたい詞（ことば）です。うさぎにこのようなありがたい「祭文」を言ったとしても、何の意味もない無駄なことであることを表したことがわがです。

・ 兎波を走る（うさぎなみをはしる）
仏教の悟りで、低い段階に留まっている人を例えた言葉です。元々うさぎというのは水の深いところに入る機会が少ない動物であるため、このように言われています。

うさぎ豆知識

・ うさぎの寿命は約8年
うさぎの寿命は、約8年です。食事管理や軽めな運動、早期の病気治療を意識してあげると、約10年以上生きる場合もあります。

・ 大量出産
1回の出産で10匹以上産むことがあり、安易な気持ちで出産させると、世話をきれなくなるので要注意。出産時に母親にストレスを与えると子どもを食べてしまうこともあります。

・ うさぎの数え方
羽がないのに1羽と数えます。

・ 夜行性
夜行性のため、夕方から朝方にかけて活発に活動します。ですが、昼でも人間が動いていれば、昼活動して夜寝るなど、生活時間に合わせていくことが可能です。



2月 講座・行事・会議予定



- 10日 (金) パソコン カラオケ 広報紙配布
- 11日 (土) 子ども手作りチョコレート教室
- 13日 (月) 社交ダンス
- 14日 (火) 舞踊 三味線
- 15日 (水) 書道
- 16日 (木) 俳句 ビジョン策定委員会
- 17日 (金) パッチワーク JA 女性部無水鍋講習会
- 19日 (日) グラウンドゴルフ月例会
- 20日 (月) わくわく講座
尾首山シイタケ植菌 (小学校3年生と)
- 21日 (火) 舞踊 三味線
- 23日 (木) 絵手紙
- 24日 (金) パソコン 生花 カラオケ
- 25日 (土) 東部地区まちづくり講演会
- 27日 (月) 社交ダンス
- 28日 (火) 舞踊 三味線

3月 講座・行事・会議予定



- 1日 (水) 書道
- 3日 (金) パッチワーク
- 5日 (日) 一斉清掃
- 7日 (火) 舞踊 三味線 ネットワーク会議
- 8日 (水) パン教室
- 10日 (金) パソコン カラオケ 広報紙配布

愛の灯

令和五年一月一日から
同月末日までに、次の方からご寄付が
寄せられました。

〈見舞い返し〉

一区 久保 孝美 様

紙面をおかりしまして、衷心より厚く
お礼申し上げます。



東部地区まちづくり講演会

東部地区自治連合会連絡橋議会 (和田・田幸・川西
神杉) では、東部地区まちづくり講演会を予定して
います。持続可能な地域づくりの話聞き、東部地
区の地域分析をし、定住対策のヒントを考えます。
コロナ感染対策上、定員は60名です。
是非ご参加をお願いいたします。

日時	令和5年2月25日 (土) 13:30~
場所	広島県立歴史民俗資料館 研修室
参加費	無料
講演内容	東部地区の持続可能な地域づくり 定住対策のヒント
講師	(社) 持続可能な地域づくり研究所 所長 藤山 浩 (ふじやま こう) 氏

山脈句会 (一月)

健康でお神酒が呑める有難さ	住田東洋男
冬座敷ふるさと語る姪も古い	広川テル子
深い雪二の字二の字の書けぬ朝	高松 英子
前向きに目標記する初日記	田原 洋子
元気かとスマホで交わす年の瀬の	中藤 博文
一椀の七草すべて味わひて	中本 好美

編集後記

昨年末からの度々の大雪で暇さえあ
れば雪かきに追われ、普段使っていな
いあちこちの筋肉が悲鳴を上げていま
す。時折のぞかせる青空と太陽の陽射
しのありがたいこと。

冬の寒さがあるから春の温もりを
感じ、夏の暑さがあるから、秋の涼し
さがうれしい。そして又冬がやってき
て季節が廻り、びっくりするほどあつ
という間に一年経ってしまします。

まずは春に向かって、冬眠している
脳と体を少しずつ目覚めさせましょ
う。でも、重くなった
体が言うこと聞いてく
れるかな・・・

